





5/12 安全運転意識の向上に

片岡公民館で、高齢者が心身ともに健康な生活を送れるよう、仲間づくりを行いながら年間を通して幅広いテーマを学ぶ「いきいき学級」が開講しました。今年度第1回目のこの日は47人が受講し、栃木県警の方などから振り込め詐欺被害防止のほか、交通状況を再現した運転動画を見ながら危険を予測するトレーニングの講義が矢板署管内として初めて行われました。

参加者は「安全運転の大切さを再認識できた。警察の方 と一緒に体操もできて楽しかった」と感想を話していました。



5/18 天皇杯出場! J1 と対戦へ

県予選を勝ち抜き、天皇杯 JFA 第 102 回全日本サッカー選手権大会への出場を決めたヴェルフェ矢板の選手などが市長を表敬訪問しました。10 年ぶり 3 回目の出場にあたり鷹觜監督は、「2 回戦で待ち受ける J1 湘南ベルマーレへの挑戦を目指す。まずは全力で初戦を勝ち取りたい」と意気込みを話してくれました。

後日出場した天皇杯で、初戦を突破した同チームは目標の J1 湘南との対戦を果たし、0 対 3 で敗れたものの、最後まで諦めないプレーで多くの人に感動を与えてくれました。



空 安全安心な国体開催に

市役所で、いちで一会とちぎ国体矢板市実行委員会への協賛にかかる感謝状贈呈式が行われ、(株)東昭建設様からウエットティッシュ1,000個を寄贈していただきました。寄贈されたウエットティッシュには国体のロゴが入っており、今後開催される国体や関連イベントなどで来場者に配布されます。

感謝状を受け取った坂井営業部長は、「国体開催の PR と感染症予防対策に利用してほしい。本市での安全安心な国体開催につながれば」と話されました。

半年前のチェックが安心です

確認



▲ (左から) 齋藤市長、(株) 東昭建設 坂井営業部長

5/20 円滑な復旧活動に期待

市役所で、市と市社会福祉協議会(社協)との「災害ボランティアセンターの設置・運営等に関する協定」締結式が行われました。この協定は、災害発生時にボランティアセンターの設置とボランティア活動を円滑に行うために、市と社協の役割分担や費用負担などについて定めたもので、これにより早急な被災者の生活支援につながることが期待されます。

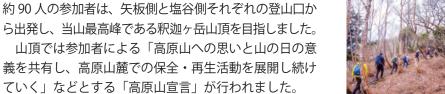
齋藤市長は「協定締結を踏まえ、災害時には両者が協力しながら円滑な復旧活動に努めたい」と話されました。



▲ (左から) 横塚副市長、齋藤市長、(福) 矢板市社会福祉協議会 福田会長、 小瀧事務局長

5/22 山頂から高原山宣言!

本市や塩谷町などにまたがる高原山で、20年ぶりとなる両市町合同での山開きが開催されました。これは、高原山への思いの共有や山麓保全への意識醸成などを目的に行われたもので、小雨が降る中、齋藤市長や見形町長など約90人の参加者は、矢板側と塩谷側それぞれの登山口から出発し、当山最高峰である釈迦ヶ岳山頂を目指しました。山頂では参加者による「高原山への思いと山の日の意





5/22 地元への思いを胸に

カンセキスタジアムとちぎ(県総合運動公園陸上競技場)で、第 22 回全国障害者スポーツ大会「いちご一会とちぎ大会」リハーサル大会(陸上競技部門)が開催され、本市在住で 2008 年北京パラリンピック男子マラソン視覚障害の部に出場した加治佐 博昭さんが、開会式において福田知事を前に選手宣誓を行いました。

大役を務めた加治佐さんは「このような機会を頂き光 栄です。地元開催となる本大会に向けて、これからも日々 練習に励んでいきたい」と話していました。



▲ (左) 福田知事、(選手宣誓者 右から 2 番目) 加治佐さん
※全国障害者スポーツ大会は、障害のある選手が競技などを通じ、スポーツの楽しさを体験する
とともに、多くの人々が障害に対する理解を深め、障害のある人の社会参加を推進することを
目的として開催される国内最大の障害者スポーツの祭典です。第22回大会が本県で10月29日~31日に開催され、14 競技の正式競技と3 競技のオープン競技が実施されます。



10 _{令和 4 年 7 月号}











重機の迫力を体感!

川崎小学校で、建設業協会塩谷支部による建設重機搭 乗体験が行われました。これは、来年3月で閉校する 当校の児童たちに学校生活の思い出にしてもらうことと、 建設業の魅力ややりがいを知ってもらうことを目的に実 施されました。児童たちは、建設業者の職員に教わりな がらショベルカーを操作したほか、高所作業車に乗って 約 10 mの高さからの眺めを楽しみました。

参加した児童は「重機の操作はとても緊張した。川崎 小での思い出が1つ増えてうれしい」と話してくれました。



花いつぱい川崎城跡公園

川崎城跡公園で、川崎城跡公園再生市民会議の会員な ど有志による草刈りが行われました。この活動は、川崎 城跡を市民に愛され続ける公園とするため定期的に行わ れているものです。今回は草刈りと併せて、参加した矢 板高校の先生や生徒8人が中心となり、公園東側の花 壇の整備も行われ、サルビアやマリーゴールドなど500 株の花が植えられました。

作業を終えた生徒は「また手伝えることがあったら参 加してみたい」と話してくれました。









国体応援!!サッカーフェス

矢板運動公園サッカー場で、「レディースガールズサッ カーフェスティバル 2022」が開催され、市内外から 25 組の親子が参加しました。このイベントは、10月開催の いちご一会とちぎ国体で、本市がサッカー少年女子の競 技会場となることから、その PR を目的に県サッカー協 会が主催して行われたものです。

参加した子どもは「ボールを蹴って取り合ったりする のが面白かった。サッカーが好きになった」と爽やかな 汗を流しながら話してくれました。





歩いて地元の歴史再発見

長井地区で、文化財や史跡を巡るウォーキングイベン ト「歩き・み・ふれる歴史の道」が行われました。これ は、市内の文化財をより知ってもらおうと市と文化財愛 護協会の共催により毎年行われているものです。今回は、 同地区にある宮下石仏群や多賀三嶋神社などを巡る、約 3 キロのコースに 20 人が参加しました。

参加者は「近くに住んでいても知らなかった地元の歴 史に触れられて勉強になった。歩きながらなのでいい汗 もかけて気持ちよかった」と話していました。



▲文化財愛護協会の白石 会長は、文化財の解説 のほか、歩きながら聞 こえた鳴き声の鳥の名 前や、通りがかりで見 かけたりんご畑で生育 の様子なども丁寧に教 えてくれました。